

会 議 録

会議の名称	第2回富士見ガーデンビーチ運用に関する市民検討会議
開催日時	令和元年12月17日(火) 19時30分～21時00分
開催場所	中央図書館 集会室
出席者	加藤連治氏、大竹ミイ子氏、神谷和義氏、河村明彦氏、古賀正信氏、小林正剛氏、瀬戸口幸子氏、長ヶ原美博氏 事務局：生涯学習課（深迫課長、高見副課長、坂本主査、加藤主任）
欠席者	押田一氏、坂田紀子氏、松原ふみえ氏
1 開会	
2 あいさつ	座長、生涯学習課長から
3 報告事項	(1) 今年度の運営状況について ① 利用状況 ② 台風19号による被災状況 (2) 市民アンケートの結果報告について (1)～(2)まで事務局から資料に基づき説明。
参加者	台風によるガーデンビーチへの浸水がこれまでも頻繁に起きていたことに驚いた。今後も同様のことが起こるという想定のもと、対策が必要だろう。
参加者	平成26年や28年の浸水時も今回と同じくらいの修繕費用がかかったのか。
事務局	過去の浸水時には機械への被害は無かったため修繕費用は発生せず、プールに流入した土砂の清掃のみ実施した。機械室は、50mプールや子どもプールと比べて一段高い流水プールエリアに設置されており、過去はそこまで水が来なかった。今回は流水プールエリアを超えて浸水してしまったため、機械室にも水が流入してしまった。

事務局：過去の浸水は砂川堀の越水が原因だったが、かさ上げの結果、今回は砂川堀からの流入は無かった。榛名神社の南側にある第二砂川堀が越水したようだ。機械室へは排水柵からの逆流と環境センター道路側のシャッターから流入したと考えられる。

参加者：機械室の高さを上げることはできないのか。

事務局：ろ過装置の構造上、高さを上げることは難しい。

参加者：アンケート結果で示された市内小学生の利用状況や安全面等をふまえると、今後の運営は厳しい状況にあるのではないかと。ガーデンビーチからの距離を考えると、頻繁に利用できるのは勝瀬小学校、ふじみ野小学校、諏訪小学校のエリアあたりまでではないかと。ガーデンビーチから遠い地域、例えば水谷東や針ヶ谷、関沢、つるせ台等からの利用は難しいだろう。また中学生は部活等もあるのでガーデンビーチを利用するとは考えにくい。現在は市内の子どもの数は横ばいだが、今後減少傾向になってくるだろう。猛暑の問題や、室内で遊ぶ子どもが増えている傾向を考えると、ガーデンビーチを利用する子どもは減っていくのではないかと。時代と共に子どもの遊ぶ環境も変化している。今後も継続して多くの子どもの利用を見込むことは難しいのではないかと。

参加者：今回初めてガーデンビーチの台風被害の写真を見たが、こんなに酷いことになっていたのかと驚いた。駐車場は遊水地になっているということだが、ガーデンビーチがオープンした当時よりも遊水地機能の必要性が更に増しているのではないかと。現在のガーデンビーチの場所は遊水地として活かし、全く別の場所に新たなものを作るという考えもあるのではないかと。

参加者：小学生向けアンケートの結果で、6割の子どもがガーデンビーチを利用しているということに驚いた。割合としてはかなり高いと感じた。

参加者：子どもが利用するのに安心・安全な施設として、遠くの地域からも来場しているということではないかと。

参加者：ガーデンビーチ駐車場の遊水地機能を強化することはできるのか。横浜の日産スタジアムは駐車場等を遊水地にしており、今回の台風でも活用されたと記憶している。ガーデンビーチの場所を動かすことは難しいと思うので、多くの水を遊水できる駐車場を検討していく必要があるのではないかと。

(3) その他報告事項について

- ① 前回会議での質問等に対する報告
 - (ア) 温水プールの建設費用について
 - (イ) 維持管理費用について
- ② ガーデンビーチ完全リニューアルの概算費用
- ③ 近隣民営プール設置状況
- ④ 学校開放プール視察

事務局から資料に基づき説明。

参加者：学校開放プール視察時に大人の利用者は居たか。

事務局：視察当日は、習志野市のプールに大人の利用者が1人いた。利用者のほとんどが子どもだった。

参加者：富士見市では学校開放プールは実施していないのか。

事務局：現状は実施していない。過去にみずほ台小学校においてPTA主体でプール開放を実施していたことがあるが、2011年に大阪のプールで事故があり、現在はプール管理の委託には警備資格が必要になっている。

参加者：アンケート結果を見ると、ガーデンビーチは大人の利用が少ない一方で、多くの方が子どもたちのためには必要だと回答している。ガーデンビーチまでの距離の問題等もふまえると、学校プールの開放は一つの案として有用だと思う。

参加者：学校開放プール視察先の委託金額が示されているが、金額がかなり安いのではないか。

事務局：学校プールの設備をそのまま利用するため大幅な修繕や清掃が不要なこともあり、安価なのではないかと推測している。

参加者：朝霞わくわくどーむの収入は把握しているか。

事務局：収入については調べ切れていない。しかしながら、指定管理者制度を導入している施設であるため入場料等は指定管理者の収入になり、市には入ってこない。

参加者：近隣の温水プール資料について、余熱利用をしていない施設はどのような熱源を利用しているのか。

事務局：おそらく都市ガス等を利用していると考えられる。

参加者：板橋区には最新の熱源を導入しコージェネレーション施設として運営をしてい

る温水プールがある。環境に配慮した温水プール施設について研究してほしい。
小さい規模のプールでも構わない。

参加者：すぐに新しい施設を作ることは難しいので、現在の施設の利用方法と5年後10年後のプール活用の2本立てで考える必要があるのではないかと。

参加者：開場期間中、ガーデンビーチを毎日のように利用している子どももいる。土日は近隣の大井や南古谷等からも多くの人々が来ている。子どもの遊ぶ環境等は時代と共に変わっている部分もあるが、利用している子どもや家族からすれば安く近くて近い有難い施設なので、続けてほしいという思いはある。

参加者：全面改修をするのか、新しい施設を作るのか等、判断を早くしてほしいという思いもある。

参加者：資料によると全面改修費用が18億円と高額だが、改修して継続もあり得るのか。

事務局：現状は壊れたところを少しずつ修繕しているが、直しきれなくなることも想定される。安全面を考えても全面改修が必要になる可能性はある。

参加者：夏の2カ月しか利用できない施設に高額な費用をかけるのであれば、年間を通じて使うことができる施設にお金をかけた方が良いのではないかと。

参加者：費用の問題はあるが、規模が小さいものであっても年間通じて使えるプールの方が良いと思う。

参加者：前回会議の資料を見ると、川口市と行田市は維持管理費や利用者1人当たりにかかっている費用が非常に安い。なぜ安いのか、理由を調べてほしい。

事務局：確認する。

参加者：ガーデンビーチの所在地は台風の浸水被害が頻発している場所だということを考えると、集客施設として安全性が保たれていると言えるのか。これまでは、屋外施設のため台風時には利用者が居ない状態だったが、年間使用できる屋内施設を作ると考えた時、利用者が居る状態で被災する可能性もある。場所の特性を考えたうえで、集客施設をその場所に作ることの是非についても検討する必要があるのではないかと。

4 議事事項

(1) 市民懇談会の開催に向けて

事務局から資料に基づき説明。

5 意見交換

特になし

6 その他

次回会議は、市民懇談会実施後の2月頃に開催予定。

7 閉会